はじめに

開講にあたって

令和2年1月より明らかとなった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により，我々の生活様式は大きく一変しました．同時に緊急事態宣言に伴う外出自粛，過剰に飛び交う情報とインフォデミックなどにより，多くの方々がこれまで受けたことがないストレスを感じたかもしれません．

4月に発令された緊急事態宣言によって，教育現場も急激な変化を余儀なくされました．登校の制限や遠隔授業が一斉に開始され，学生のみなさんも新年度に対する大きな不安を抱いていたのではないかと推測します．普段，理学療法士養成校で教鞭を取っている私の元にも，多くの学生達から学習への不安やモチベーションの揺らぎに関する悩みの声が届きました．それはSNSを通じて他校の学生達からも寄せられるようになり，徐々に教育者として何か出来ることはないかと考えるようになっていきました．

この状況に対し，私の専門性を活かして出来る支援は何か．

考え抜いた結果，外出自粛を遵守する学生達のために無料オンライン解剖学講義「Stay's Anatomy」を立ち上げようという結論に至ったのです．

Stay's Anatomy とは

Stay's Anatomy は最初は僅か数名の学力サポートのつもりで立ち上げた無料オンライン講義でした．

・開講は毎週日曜日の 10 時 30 分から 90 分
・LINE のオープンチャットを活用
・YouTube のライブ配信を使用

扱うテーマは参加者の声を確認しながら決め，神経，脳画像，消化器，循環器，呼吸器，上肢，下肢，脊柱，心電図．そのいくつかは複数回行うことで計 10 回となりました．特筆すべきは，回を増すごとにその参加者数は 100 名，1,000 名，3,000 名と増えたことです．そしてなんと，現在では約 5,000 名が登録するコンテンツへと成長し，その活動が評価されて第 2 回 LINE OpenChat LeaderAward を受賞することもできました．また理学療法士養成校の学生以外に医師，看護師，鍼灸師，柔道整復師，アスレチックトレーナーなど多くの職種を目指す学生達が参加し，受講後のアンケートで

99％が『理解できた』，97％が『満足』

との回答を得ることができました．さらに，学生だけでなく，現職者の方々も数多く視聴してくださいました．Stay's Anatomy がここまでの規模に成長し，多くの学生達と繋がる結果になるとは開始当初はまったく考えていないことでした．

運営に際してオンライン講義のノウハウが無い私に対し，本当に多くの方々が力と知恵を貸してくれました．運営を支えてくれた株式会社 gene 代表取締役の張本浩平先生，技術面でバックアップしてくれた理学・作業療法士国家試験専門オンライン塾 鰐部ゼミナールの鰐部雄心先生，広報に協力してくれたアークメディカルジャパン株式会社 代表取締役の坂元大海先生，綺麗で楽しいグラレコで Stay's Anatomy を彩ってくれた豊原亮子先生，Stay's Anatomy の名付け親の森田佳祐先生，いつも運営スタッフとして支援してくれている田中めぐみ先生には心から御礼を伝えたいと思います．ありがとうございました．

そしてそれがいま，本になりました．学生支援の一環として始めたStay's Anatomyが書籍となることに一番驚いているのは，間違いなく私です．これを機に，リアルタイムで視聴できなかった方々にも，Stay's Anatomyの世界観に触れていただきたいと思います．講義のライブ感を活かして仕上げた一冊だからこそ，従来の書籍とは異なる学びを提供することができると確信しています．解剖学は臨床で大事だからこそ，現職者の方々にも，学び直しの解剖学として役立つ部分が大いにあります．特に，「解剖学が苦手」「基礎医学が好きになれない」「学校の講義では理解できない」という学生には是非，本書を手に取ってほしいです．本書が貴方の基礎学力，臨床能力，さらに近い将来に担当するであろうクライアントの幸せに繋がることを，私は著者・教育者として強く願っています．

正しく・楽しく・わかりやすいをモットーに

私は普段，教壇に立つ際に「正しく・楽しく・わかりやすい講義」を展開することを心がけています．

当然のことながら，講義はその内容が「医学的に正しいこと」が大前提です．そのうえで私は「楽しさ」と「わかりやすさ」も重要な要素だと考えています．極論，解剖学は膨大な暗記を行う学問です．だからこそ講師が淡々と教科書・スライドを読み上げるだけの講義では，「本当に解剖学を学ぶ意義」は学生に伝わりません．また，解剖学の学習を単なる暗記の作業だと捉え，苦手意識を持ってしまう学生も少なくはありません．医学の根幹とも言える解剖学に対して苦手意識を持ってしまうことは，その後の学習に大きく影響を及ぼしてしてしまいます．

私が考える講義における「楽しさ」とは単に余談を増やし，レクリエーション等を導入するという意味ではありません．骨であれ筋であれ，構造を覚える理由がわからないままの学習は，単なる暗記作業になってしまいます．医療人を目指すうえで学ぶ意義をしっかりと伝えることが，学びの楽しさに繋がるのだと考えています．

また「わかりやすさ」については，何故か議論や見解が分かれる印象があります．現職者に対して「わかりやすい講義を心がけている」という話をすると，「学生の考える力を奪っている」「学生を甘やかしている」という批判の声を受けることがあります．はたして本当に，わかりやすい講義は学生の力を奪っているのでしょうか．書店に立ち寄った際に参考書のコーナーを見ると，高等学校までの教育過程の書籍は各学生の学力水準に応じたものがずらりと並んでいます．それに対して医学書のコーナーに目を向けると高尚な書籍は多い反面，学生の多様性に合わせた書籍はまだまだ少ない印象です．私個人の思いとして，「わかりやすい講義」が悪だとは考えていません．むしろ，あいまいな知識のままで進級し，臨床の場に立つことの方が問題だと思っています．個人的な見解ではありますが，医学の教育にも，より多様性のある学習が導入されるべきだと考えています．

本書では，参加者から要望の多かった**神経**と**循環器**，また臨床でつまずきやすい**脳画像**と**心電図**という，注目コンテンツを集めました．まずは体験していただくのが1番でしょう．それではStay's Anatomyスタートです．

2020年9月

町田志樹

編集部注：

・オンライン講座Stay's Anatomyの内容を下敷きに，書籍化にあたり，大幅な加筆・再構成をしております．実際の講義内容と異なる点がありますこと，予めご了承ください．

・本文中のイラスト左上の頁等は公式テキスト『PT・OTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学』（羊土社，2018）の該当頁，図番号です．フルカラーの公式テキストをお手元に本書を読み進めることで，関連情報やより深い理解へとつながります．

・オンライン講座のインフォメーションはp.176もご参照ください．